



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

NISA成長投資枠対象

## 中野 晴啓からのメッセージ

米国およびイスラエルによる、イランへの軍事行動が開始されました。今回の事態は事前にある程度織り込まれていたため、初期の市場へのインパクトは限定的と見られます。

しかし、仮に事態がエスカレートし、イランによるホルムズ海峡の封鎖や、イスラエルおよび中東地域の米軍拠点への報復攻撃が本格化すれば、紛争が長期化し泥沼化するリスクを孕んでいます。何より中東地域の動乱は、世界の原油供給網における深刻な支障に直結し、エネルギー価格の急騰が実体経済に及ぼす影響は甚大です。

加えて、関税政策など経済面での強硬策から軍事的な単独行動へと傾斜する米国の姿勢は、国際的な信認低下を招きかねません。これに伴う国際秩序のさらなる不安定化により、経済貿易環境のみならず、地政学上の不確実性が劇的に高まるリスクを考慮せざるを得ない局面と言えましょう。

ここまでの株式市場は、米トランプ政権の強硬政策を「ディール(取引)に向けた一時的なブラフ(脅し)」と捉え、AI関連主導の相場を背景に実体経済の行方を楽観視するムードが支配的でした。しかし、今般の米国主導による中東情勢の緊迫化は、こうした市場の楽観的なモメンタムに強烈な冷や水を浴びせる可能性があります。

とりわけ日本は原油輸入の9割超を中東地域からの調達に依存しており、原油価格の上昇は、政府による物価高対策の効果を減殺しかねません。さらに、インフレの高進と円安の進行が相まって、瞬間間にスタグフレーション(インフレ下の景気後退)を呼び起こすほどのインパクトを持ち得ます。投資戦略上、これを想定シナリオの一つに据える必要に迫られています。

とは言え、私たち本格的な長期投資家にとって、市場の動揺と楽観相場の修正は、優良な投資機会の到来を意味します。長期にわたり事業成果の安定的拡大が見込まれるハイクオリティ企業は、インフレ環境下においてこそ相対的に真価を発揮し、力強く浮上していくはずで

中長期的な目線に立脚したポートフォリオ内の事業価値を再点検するとともに、この局面を割安な仕込み機会と捉え、冷静に対処してまいりましょう。



代表取締役社長 中野晴啓

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。  
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
ホームページ: <https://nakano-am.co.jp/>



なかの資産マネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

NISA成長投資枠対象

## 山本 潤からのご報告

米国株式市場では、巨大IT企業(マグニフィセント・セブン)等によるAI関連投資が100兆円規模に達する中、競争激化や減価償却費の増大に伴う収益性低下への懸念が足かせとなりました。

また、生成AIの急速な進化が従来のソフトウェア(SaaS)ビジネスの脅威になるとの見方も台頭し、関連銘柄は軟調に推移しました。一方で、当ファンドの実質的な組み入れ銘柄においては、AIインフラの心臓部を担う韓国の半導体メモリーメーカーなどの躍進が寄与し、パフォーマンスを下支えしました。

現状、市場の一部にはAI投資に対する過度な悲観論も見受けられますが、その投資額は依然として世界経済規模の1%未満に過ぎません。現在は主にホワイトカラー領域における「AIとの共創」段階にありますが、今後は物流や製造といったフィジカル領域へも実装が進むと見ています。

全要素生産性の飛躍的な向上を通じて、AIが世界経済の長期的成長を力強く牽引するという当運用部の確信に揺るぎはありません。

こうした短期的な市場のセンチメント変動に惑わされることなく、組み入れファンドの投資規律や、実質的な保有企業のファンダメンタルズを精査するボトムアップ・アプローチが今こそ有効です。ポートフォリオが内包する実質的な中長期の利益成長に基づく、ファンダメンタルズは極めて良好です。さらに今月より、欧州の良質なクオリティ・グロース株を厳選する「メッツラー・ヨーロッパ・グロース・ファンド」を新規採用いたしました。今後もグローバルな視点で最適な運用戦略を組み合わせ、ポートフォリオのさらなる質的向上を図ってまいります。



運用部長 チーフポートフォリオマネージャー 山本 潤

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。  
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信／内外／株式

## ●基準価額及び純資産総額の推移(2026年2月末現在)

年明けより、既存・新規投資先ファンドの徹底的な再分析を継続しています。戦略面では「SaaSの死」という過度なAI脅威論を逆手に取り、割安圏のソフトウェア株を積み増しましたが、短期的にはこれがパフォーマンスの重石となりました。一方、需給が逼迫した半導体メモリーメーカーが急伸し、全体の基準価額は前月比プラスを確保しています。現在、当ファンドは投資ユニバースの更なる拡充を急いでいます。市場のボラティリティを好機と捉え、厳格なデューデリジェンスに基づき、次なる成長を牽引するクオリティ・ファンドの新規採用に向けた最終精査を進めております。

基準価額	純資産総額
11,734円	34億円



※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。  
 ※ 参考指数は「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社で円換算しています。  
 ※ 純資産総額は、単位未滿を切り捨てて表示しています。

## ●分配金実績(一万口当たり、税引前)

決算期	分配金
第1期 2025/4/24	0
-	-
-	-
設定来 合計	0

## ●騰落率

	当ファンド	参考指数
1ヶ月	1.4%	2.4%
3ヶ月	4.6%	5.5%
6ヶ月	12.2%	18.1%
1年	16.8%	30.5%
3年	-	-
5年	-	-
設定来	17.3%	44.3%

※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。  
 ※ 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。  
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

追加型投信/内外/株式

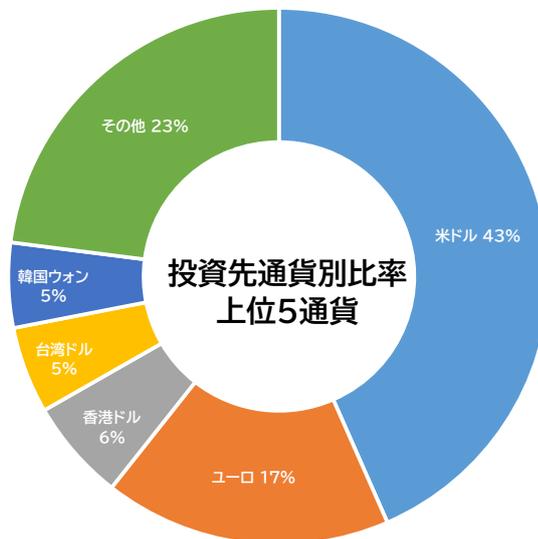
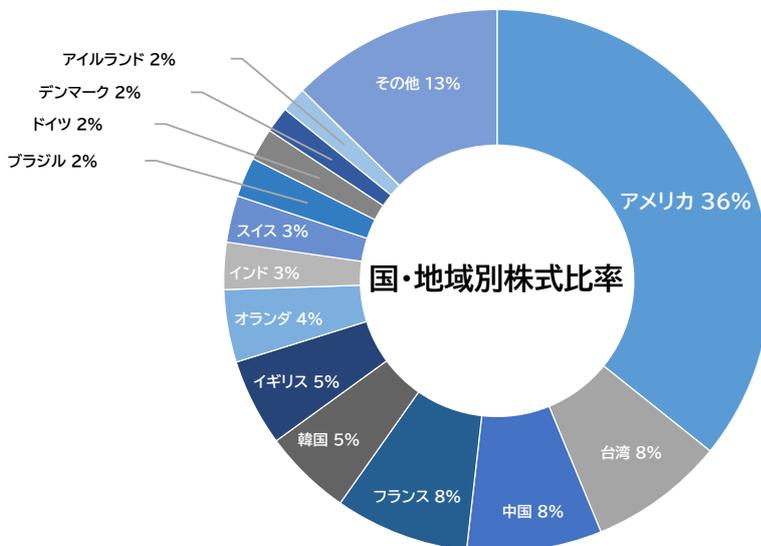
NISA成長投資枠対象

## ●資産の組入比率

なかの世界成長マザーファンド	96.9%
現金等	3.1%
合計	100%

ポートフォリオの状況(なかの世界成長マザーファンド)

## ●国・地域別株式比率/投資先通貨別比率(上位5通貨)



※ 「国・地域別比率」、「通貨別比率(上位5通貨)」は2026年1月末のデータをもとに2026年2月末現在の各ファンドの投資ウェイトで当社が計算しております。  
 ※ その他にはコール・ローン等を含む場合があります。  
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

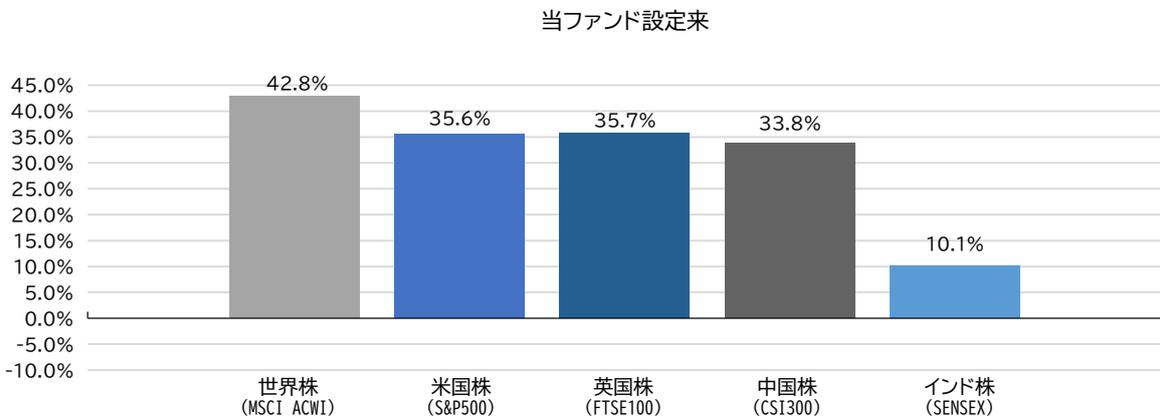
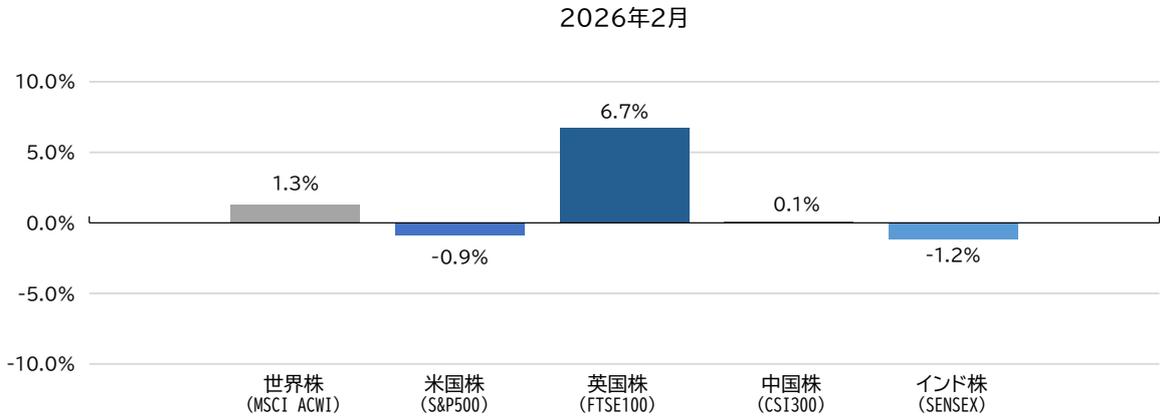
# なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信／内外／株式

## <ご参考>

### ●地域の代表的な株価指数の騰落率



※上記の指数は現地通貨ベースです。

### ●為替レートの推移(米ドル/円)



※ 出所: Bloomberg  
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのASETマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信／内外／株式

## ●組入ファンドの概要(なかの世界成長マザーファンド)

	銘柄名	運用会社	騰落率 (月間※)	組入 比率
		ファンド概要		
1	アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	7.7%	26.4%
		新興国の企業を中心に投資を行います。景気サイクルによる利益成長ではなく、構造的な成長機会を重視しています。		
2	コムジエスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)	コムジエスト・ASETマネジメント株式会社	-0.9%	18.9%
		世界の企業を対象に徹底したファンダメンタル分析に基づいて、高い利益成長が期待される企業を中心に、集中投資します。		
3	アライアンス・バーンスタイン SICAVーグローバル・グロース・ポートフォリオ(Fクラス)	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー	-3.0%	18.5%
		主として新興国を含む世界各国の株式等に投資します。長期で優れた利益成長を達成する可能性が高い企業に厳選投資します。		
4	コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)	コムジエスト・ASETマネジメント株式会社	0.5%	12.2%
		主としてヨーロッパの企業を対象に、高い利益成長が期待される企業を中心に個別銘柄を選定し、信託財産の成長を目指します。		
5	ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAVーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	3.0%	10.8%
		主として海外の社会と環境にプラスになる事業を行い、株価が将来にわたって上昇すると期待される企業に投資するファンドです。		
6	TCW デュラブルグロース ETF(米国上場ETF)	TCW・インベストメント・マネジメント・カンパニー	-0.9%	9.0%
		主に米国上場の株式を中心に、収益の継続性が見込まれるかつ代替が難しい唯一無二のプロダクトを保有する高成長企業に集中投資します。		
7	メッツラー・ヨーロピアン・グロース・ファンド・クラスC	メッツラー・ASET・マネジメント GmbH	—	4.0%
		主として欧州企業を中心に、安定的な成長を伴う大型株および成長ポテンシャルをもつ源泉された中小型株に投資を行い、長期的な成長を目指します。		
	現金等			0.2%

※メッツラー・ヨーロピアン・グロース・ファンド・クラスCは、組入れてから1か月経過していないため月間騰落率は記載しておりません。

※ 外貨建てのファンドにつきましては、円換算した騰落率です。  
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信／内外／株式

## ●組入上位20銘柄の中から過去3か月で株価騰落率の高かった銘柄

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	騰落率 (過去3か月)
1	サムスン電子	韓国	情報技術	2.4%	115.3%
2	SKハイニックス	韓国	情報技術	1.5%	98.3%
3	台湾セミコンダクター	台湾	情報技術	4.9%	39.0%

## ●組入上位20銘柄の中から過去3か月で株価騰落率の低かった銘柄

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	騰落率 (過去3か月)
1	エシロールルックスオティカ	フランス	ヘルスケア	1.2%	-27.0%
2	ブロードコム	米国	情報技術	1.0%	-20.5%
3	マイクロソフト	米国	情報技術	2.4%	-20.0%

※ 組入上位銘柄は、各ファンドの組入上位10銘柄(2026年1月末)をもとに2026年2月末現在の各ファンドの投資ウェイトで当社が計算しております。  
 ※ 上記の騰落率は現地通貨ベースです。  
 ※ 各ファンドで重複して保有している銘柄については合算して記載しております。  
 ※ 「銘柄名」および「国・地域」は当社の判断で表示しています。  
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

## なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信/内外/株式

## ●各ファンドの組入上位5銘柄

## アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	サムスン電子	韓国	情報技術	9.0%	115.3%
2	台湾セミコンダクター	台湾	情報技術	8.8%	39.0%
3	SKハイニックス	韓国	情報技術	5.6%	98.3%
4	テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション	5.3%	-15.3%
5	アリババ・グループ・ホールディング	香港	一般消費財サービス	3.4%	-5.7%

## コムジエスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	8.5%	39.0%
2	アルファベット	米国	コミュニケーション	6.1%	-2.6%
3	マイクロソフト	米国	情報技術	6.0%	-20.0%
4	ジョンソン・エンド・ジョンソン	米国	ヘルスケア	5.0%	20.7%
5	ビザ	米国	金融	5.0%	-4.1%

## アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ(Fクラス)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Amazon.com, Inc.	米国	一般消費財サービス	5.9%	-10.0%
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing	台湾	情報技術	5.2%	39.0%
3	ASML Holding NV	オランダ	情報技術	5.0%	36.7%
4	Carvana Co.	米国	一般消費財サービス	4.8%	-10.8%
5	Microsoft Corp.	米国	情報技術	4.3%	-20.0%

## コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	6.9%	36.7%
2	シュナイダーエレクトリック	フランス	資本財サービス	6.2%	19.8%
3	SAP	ドイツ	情報技術	4.5%	-18.0%
4	インディテックス	スペイン	一般消費財サービス	4.4%	17.8%
5	エシロールルックスオティカ	フランス	ヘルスケア	4.1%	-27.0%

## ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Linde	米国	素材	3.1%	24.3%
2	Broadcom	米国	情報技術	2.9%	-20.5%
3	Popular	米国	金融	2.5%	18.8%
4	TE Connectivity	アイルランド	情報技術	2.3%	2.1%
5	Deere & Co	米国	資本財サービス	2.1%	36.0%

## TCW デュラブルグロース ETF(米国上場ETF)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	TransDigm Group Incorporated	米国	資本財サービス	8.5%	-4.2%
2	Broadcom Inc.	米国	情報技術	7.3%	-20.5%
3	Alphabet Inc. Class A	米国	コミュニケーション	7.0%	-2.6%
4	GE Aerospace	米国	資本財サービス	7.0%	14.8%
5	Microsoft Corporation	米国	情報技術	5.6%	-20.0%

- ※ 原則、各運用会社からのデータを基に作成
- ※ 上記はデータが入手できる2026年1月末現在の情報です。
- ※ 「銘柄名」および「国・地域」は当社の判断で表示しています。
- ※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。
- ※ 「過去3ヶ月リターン」は、2026年2月末現在の情報を現地通貨ベースで表示しています。
- ※ 当マンスリーレポート作成時点において、開示できる情報がない場合は記載しておりません。
- ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
- ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信／内外／株式

## メツラー・ヨーロピアン・グロース・ファンド・クラスC

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ASML Holding N.V.	オランダ	情報技術	8.6%	36.7%
2	AstraZeneca PLC	イギリス	ヘルスケア	6.2%	12.4%
3	Rolls Royce Holdings PLC	イギリス	資本財サービス	3.6%	24.9%
4	Siemens Energy AG	ドイツ	資本財サービス	3.4%	45.0%
5	Schneider Electric SE	フランス	資本財サービス	3.2%	19.8%

### ●新規組入れた銘柄

銘柄名	メツラー・ヨーロピアン・グロース・ファンド・クラスC
運用会社	メツラー・アセット・マネジメントGmbH

**METZLER**  
Asset Management



なかの世界成長ファンドの投資先として新たに加わったファンドをご紹介します。

ドイツ・フランクフルトに本拠を置くメツラー・アセット・マネジメントの「メツラー・ヨーロピアン・グロース・ファンド・クラスC」です。

メツラーは1674年の創業以来、約350年にわたり創業家が株式を所有し続けるドイツ最古のプライベート・バンクのひとつです。外部資本に頼らない独立性を貫き、外部の株主からの短期的な利益追求の圧力に晒されることなく、顧客の利益と長期的な資産保全を追求してきました。次の世代を見据えるこの長い時間軸と安定した組織文化は、私たちの長期厳選投資の哲学と一致しています。

同戦略の核心は、圧倒的な競争優位性と強靱なビジネスモデルを持つクオリティ・グロース企業への投資にあります。欧州には特定分野で他社の追随を許さないEuropean Innovators(欧州の革新者たち)が存在します。歴史と伝統が極めて高い参入障壁となっているラグジュアリー企業、生命のインフラを担う最先端のライフサイエンス企業、世界のデジタル社会の心臓部を握る半導体製造装置メーカーなど、特定の国の景気変動に左右されにくく、世界に不可欠な存在としてグローバル市場を牽引し続けるリーディングカンパニーです。この盤石な事業基盤が高い参入障壁と強力な価格決定力を構築し、莫大かつ安定したフリーキャッシュフローを生み出し続けています。

運用プロセスでは、約1,000銘柄の欧州株式ユニバースから、徹底したボトムアップ分析により40~60銘柄へと厳選します。ポートフォリオマネージャー1人あたり年間200回以上に及ぶ企業との対話は、強固な相互信頼を築き、将来ビジョンを正確に把握するための不可欠なプロセスです。数字に表れない経営の質を含めて厳格に評価しています。

350年の知見を有するパートナーとともに、長期にわたり複利的な成長を続けるクオリティ・グロース企業の発掘を通じて、持続的かつ強固な成長を実現してまいります。

※ 原則、各運用会社からのデータを基に作成  
 ※ 上記はデータが入手できる2026年1月末現在の情報です。  
 ※ 「銘柄名」および「国・地域」は当社の判断で表示しています。  
 ※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。  
 ※ 「過去3ヶ月リターン」は、2026年2月末現在の情報を現地通貨ベースで表示しています。  
 ※ 当マンスリーレポート作成時点において、開示できる情報がない場合は記載しておりません。  
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信／内外／株式

お知らせ

## なかの号通信のご紹介です！

「なかの号通信」では、運用チームからのメッセージや投資のちょこっとコラム、当社社員の日常など、なかのアセット社員一人ひとりの個性や普段は見えにくい『素顔』をお届けしています。マンスリーレポートとあわせてぜひご覧ください。

<https://nakano-am.co.jp/fund/reports/>



NO. 09 **なかの号通信** 2026年 2月発行

充実コラムと私たちの想いをお届け！

**目次**

- 中野晴啓よりメッセージ..... 2
- 運用チームからのメッセージ..... 3-4
- 投資についてちょこっと一言..... 4
- PICK UP COMPANY..... 5
- 投資コラム「トレンドとサイクル」(その12)バリュー投資⑥..... 6
- ご自身にあった選択肢を考える 顧客本位の相談室..... 7
- セミナー情報..... 8
- 大阪取引所見学ツアー終了のご報告..... 9

昨年から「なかの号通信」をリリースいたしました。マンスリーレポートとあわせて、ぜひご覧ください。

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

なかの号通信

中野晴啓よりメッセージ

運用チームからのメッセージ

投資についてちょこっと一言

PICK UP COMPANY

投資コラム「トレンドとサイクル」(その12)バリュー投資⑥

ご自身にあった選択肢を考える 顧客本位の相談室

セミナー情報

大阪取引所見学ツアー終了のご報告

昨年から「なかの号通信」をリリースいたしました。マンスリーレポートとあわせて、ぜひご覧ください。

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

運用チームからのメッセージ

毎月、運用チームのメンバーが僕らなりに記事を書いています。メッセージを通して、運用チームを少しでも身近に感じていただけたら幸いです。

山本 寛  
運用部長  
チーフポート  
フォリオ  
マネージャー

運用チームメンバーがリレー形式で投稿しているnoteはこちら

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

ご連絡

代表取締役社長 兼 最高投資責任者 (CIO) 中野 晴啓

投資についてちょこっと一言

インフレに負けないためには

※巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。  
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信／内外／株式

## ●ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

主として、内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

### ファンドの特色

- 1 世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。
- 2 長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業(クオリティ・グロス企業)の株式に投資を行います。
- 3 多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。
- 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

### ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

また、マザーファンドを通じて複数の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ マザーファンドを通じて内外の投資対象ファンドに投資を行い、実質的に世界の株式等に投資を行います。

### 分配方針

毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
  - ・ 分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
  - ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。
- ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## ●投資リスク

### 基準価額の変動要因

- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・ **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・ 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

#### ● 価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

#### ● 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または支払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

#### ● 為替変動リスク

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

#### ● カントリーリスク

主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

#### ● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのASETマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信／内外／株式

## 収益分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

## その他の留意点

- ・ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

## リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- ・ 委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- ・ 委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

## ● 手続・手数料等 お申込メモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
信託期間	無期限(2024年4月25日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。</li><li>・ 信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。</li><li>・ やむを得ない事情が発生したとき。</li></ul>
決算日	原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。</li><li>・ 当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。</li><li>・ 配当控除の適用はありません。</li><li>・ 益金不算入制度は適用されません。</li></ul>

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

NISA成長投資枠対象

追加型投信／内外／株式

## ファンドの費用・税金

### ●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、 <b>年率0.605% (税抜0.55%)</b> を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
	投資対象ファンド	年率0.4%～0.9%程度(税抜) ※運用・管理報酬等の料率は投資対象ファンドにより異なります。
	実質的な負担	年率1.3%±0.2%程度(税込) ※投資対象ファンドの組入比率の変更などにより変動します。
その他の費用・手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。 ※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。	

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

### ●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## ●委託会社およびファンドの関係法人

委託会社 ファンドの運用の指図を行う者	なかのアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者関東財務局長(金商)第3406号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 ホームページアドレス： <a href="https://nakano-am.co.jp/">https://nakano-am.co.jp/</a>
受託会社 ファンドの財産の保管および管理を行う者	野村信託銀行株式会社

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

3月マンスリーレポート (2026年2月末基準)

# なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

NISA成長投資枠対象

販売会社 ファンドの募集の取扱い等を行う者		登録番号	日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
第一生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第657号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者マ ネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業 者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
三菱UFJeスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社北國銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第5号	○		○	
広田証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第33号	○			
徳島合同証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第5号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○

※ 販売会社には取次金融機関を含みます。

## ●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・ 当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ 当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・ 本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。